

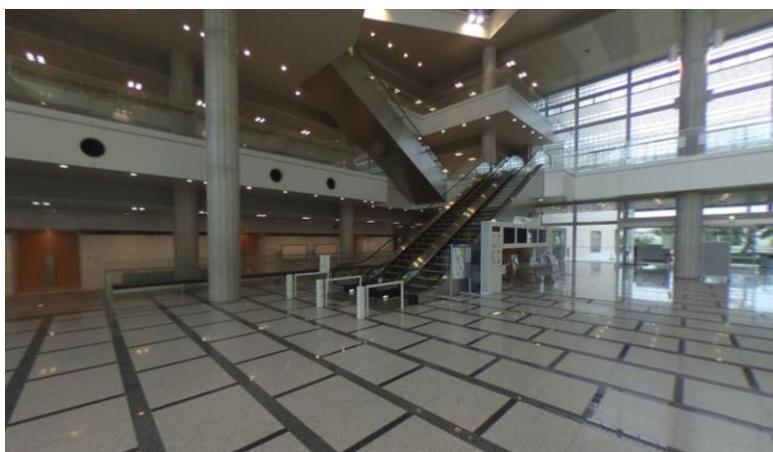


第77回日本リハビリテーション医学会関東地方会学術集会

専門医・認定臨床医生涯教育研修会



- 日 時： 2022年9月4日（日）9:30～17:20（受付開始8:50～）
○会 場： つくば国際会議場 多目的ホール
〒305-0032 茨城県つくば市竹園2-20-3 TEL:029-861-0001
つくばエクスプレス つくば駅A3出口より徒歩10分
○会 長： 羽田 康司（筑波大学医学医療系リハビリテーション医学 教授）



第77回日本リハビリテーション医学会関東地方会学術集会

会長： 羽田 康司（筑波大学医学医療系リハビリテーション医学 教授）

事務局： 筑波大学医学医療系リハビリテーション医学

〒305-8575 茨城県つくば市天王台1-1-1

TEL:029-853-3795, FAX:029-853-3162

○参加費等

- ・地方会参加費 医師 2,000 円、メディカルスタッフ 1,000 円、学生 無料
- ・日本リハビリテーション医学会 生涯教育研修会 1 講演 1,000 円

○単位認定・地方会参加 10 単位（筆頭演者はさらに年度末自己申請により 1 演題 10 単位）

- ・日本専門医機構専門医は参加 1 単位（筆頭演者はさらに年度末自己申請により 1 演題 1 単位）
- ・生涯教育研修会 1 講演 10 単位（3 講演で 30 単位）
- ・日本専門医機構専門医は 1 講演 1 単位（3 講演で 3 単位）

○利益相反について

日本リハビリテーション医学会が定める「利益相反の管理に関する申し合わせ」に従ってください。利益相反がない場合もスライドで表示してください。

参加者の皆様へ

プログラムは当日配布しませんので、必ずご持参ください。

1. 受付にて参加費（医師 2,000 円、メディカルスタッフ 1,000 円）と引き換えに領収書と青色の参加カードと参加証明書をお受け取りください。参加証明書はお手元に保存し、必要事項を記入したカードを専用の回収箱にお入れください。
2. 生涯教育研修会にご参加の方は、1 講演につき 1,000 円をお支払いいただき、領収書をお受け取りください。専門医・認定臨床医資格更新のため単位取得をご希望の方は、白色の受講カードをお受け取りください。認定臨床医受験資格取得のため単位取得をご希望の方は、お申し出の上、オレンジ色の受講カードと受講証明書をお受け取りください。
いずれも、受講証明書をお手元に保存し、記入済みの受講カードは講演終了後、専用の回収箱にお入れください。
3. 会場周辺ではコンビニエンスストアや飲食店がございます。受付でお尋ねください。
コロナウイルス感染症予防のため、会場内での食事はお控えいただきますようお願い致します。

一般演題ご発表の先生方へ

1. 発表方法に関して
 - (1) 発表時間は5分、討論2分です。発表時間は厳守してください。
 - (2) 発表はPCを使います。スライドホルダーやVHSビデオは使用できませんのでご注意ください。
 - (3) 発表データは、USBメモリでお持ち込みください。(Macintoshをご使用の方はご自身のPC本体をご持参ください。)
2. 講演セッション開始30分前までにPC受付にて発表データの試写と受付を済ませてください。
(第1部の方は9時00分、第2部の方は10時00分、第3部の方は12時35分までに、それぞれ受付を済ませてください。)
3. USBメモリをお持ち込みの方への注意事項
 - (1) ウィルスチェックは最新の定義ファイルを用いて行ってください。
 - (2) ソフトはWindows版PowerPoint2016をご使用ください。
※Macintoshをご使用の方はご自身のPC本体を持参してください。
 - (3) フォントはOS標準のもののみをご使用ください。
 - (4) スライドサイズは標準(16:9)で作成ください。
4. ノートPCをお持ち込みの方への注意事項
 - (1) バックアップとして必ずUSBメモリ等をご持参ください。
 - (2) プロジェクターとの接続ケーブルはHDMIピンです。PCによっては専用のコネクタが必要になりますので、必ずお持ちください。
 - (3) コンセント用電源アダプタを必ずご持参ください。
 - (4) 持ち込みPCのスクリーンセーバー、省電力設定は事前に解除願います。
5. 日本リハビリテーション医学会誌「Jpn J Rehabil Med.」掲載用の抄録原稿「演題名、演者名、演者所属、抄録(本文400字以内)」を作成し、デジタルデータとして
8月29日までに事務局宛て(tkrh3795@gmail.com)にご提出ください。
コロナウイルス感染症拡大に伴い、当日の来院が困難な発表者は、事前に事務局にご相談ください(8月29日までに参加費のお振り込み及び事務局あてに音声付動画MP4形式でお送りいただいた方は、動画形式での発表可としたいと考えております)。
6. 発表が次の順番になりましたら、次演者席にて待機してください。

第77回日本リハビリテーション医学会
関東地方会学術集会 プログラム

【一般演題：第1部】9:30～10:20

座長：石本 立（茨城県立医療大学付属病院リハビリテーション科 講師）

1. 下肢切断患者における義肢作製経験

茨城県立医療大学付属病院¹⁾

筑波大学附属病院リハビリテーション科²⁾

○来間治美¹⁾、清水如代^{1, 2)}、石本 立¹⁾、竹原 慧¹⁾、来間泰佑¹⁾、平沢伸広¹⁾、俣木 優輝^{1, 2)}、竹内亮子¹⁾、岸本 浩¹⁾、六崎裕高¹⁾、羽田康司²⁾

2. カルシフィラキシスによる足趾切断に対するリハビリテーションの一例

東京女子医科大学病院リハビリテーション科

○新山美柳、木下知子、中空真二郎、若林秀隆

3. 難治性潰瘍によりライナー選択に難渋した下腿切断の一例

茨城県立医療大学付属病院¹⁾

筑波大学附属病院リハビリテーション科²⁾

○平沢伸広¹⁾、石本 立¹⁾、清水如代^{1, 2)}、岸本 浩¹⁾、竹内亮子¹⁾、来間治美¹⁾
竹原 慧¹⁾、来間泰佑¹⁾、六崎裕高¹⁾、羽田康司²⁾

4. アフガニスタン内戦で受傷した脚長不等に対する二段式義足型短下肢装具の処方経験

筑波大学附属病院リハビリテーション科

○上村周平、清水如代、渡部 岳、阿部正治、伊東 優、俣木優輝、羽田康司

5. 足関節固定術を行ったシャルコー関節を伴う偽関節症例

帝京大学医学部附属溝口病院整形外科¹⁾

帝京大学医学部附属溝口病院 リハビリテーション科²⁾

○山田敦久¹⁾、原元彦²⁾

6. 右橈骨遠位端骨折、骨盤骨折、左大腿骨骨幹部骨折を生じた多発外傷に対し、プラットホームクラッチを用いたリハビリテーションを行った一例

済生会東神奈川リハビリテーション病院¹⁾

慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室²⁾

○武中基泰¹⁾、新城吾朗¹⁾、西村温子¹⁾、宇内 景¹⁾、三浦治己¹⁾、鈴木俊幸¹⁾、池田ゆき¹⁾
江端広樹¹⁾、辻 哲也²⁾

7. 人工膝関節置換術後の患者立脚型評価スコアの経時的変化

東邦大学医療センター佐倉病院整形外科

○中島 新

【一般演題：第2部】10:30~11:15

座長： 俣木優輝（筑波大学附属病院リハビリテーション科 病院助教）

1. 脊椎疾患患者に対する新しい静脈血栓症予防法～床上下肢自動運動器 LEX の臨床応用

厚生労働省健康局健康課¹⁾

筑波大学附属病院リハビリテーション科²⁾

○小林 加菜未¹⁾、清水如代²⁾、羽田康司²⁾

2. 多発性骨髄腫による多発性骨病変を認め、脊髄障害を来たした1例

帝京大学溝の口病院リハビリテーション科¹⁾

帝京大学医学部リハビリテーション医学講座²⁾

○山崎健^{1, 2)}、大谷真貴子^{1, 2)}、原 元彦¹⁾、中原康雄²⁾、緒方直史²⁾、久能美香¹⁾、小林彩香¹⁾、佐藤 謙¹⁾

3. 長期経過を追うことができた頸椎術後C5麻痺の一例

東京慈恵会医科大学葛飾医療センターリハビリテーション科

○奥山由美、豊田紫央李、小林一成、安保雅博

4. 片麻痺で発症し脳梗塞が疑われた頸髄の急性硬膜外血腫の一例

東京都健康長寿医療センター

○全 秀剛、金丸晶子、加藤貴行、正田奈緒子、齋藤陽子

5. いきいきリハビリノートを参照した頸椎術後転換性障害の治療経験

防衛医大リハビリテーション部

○田村吏沙、古屋真里、杭ノ瀬真里、倉橋利佳、尼子雅敏

6. 医工学融合研究におけるリハビリテーション科医の役割 Standing mobility Qolo の開発

筑波大学医学医療系リハビリテーション医学¹⁾

筑波大学医学医療系サイバニクス医学²⁾

○清水如代¹⁾、門根秀樹²⁾、羽田康司¹⁾

・・・昼休憩・・・

機器展示

(幸和義肢研究所、Qolo 株式会社、CYBERDYNE 株式会社、酒井医療株式会社、PLIMES 株式会社)

50 音順

【総会】12：40～13：00

【一般演題：第3部】13：05～13：50

座長：岡田 恒夫（土浦協同病院リハビリテーション科 部長）

1. 急性両下肢動脈閉塞で発症しコンパートメント症候群を呈した新型コロナウイルス感染症
(COVID-19) の1例

横浜市立大学附属市民総合医療センターリハビリテーション科¹⁾

神奈川県立がんセンターリハビリテーション科²⁾

横浜市立大学医学部リハビリテーション医学教室³⁾

○根本明宜¹⁾、金森裕一¹⁾、高内裕史¹⁾、乾総一郎¹⁾、佐久間藤子²⁾、中村 健³⁾

2. 重症シェーグレン症候群により脳梁膨大部病変、横断性脊髄炎、劇症型心筋炎、ICUAW を呈した1例

東京女子医科大学病院リハビリテーション科

○木下知子、中空真二郎、新山美柳、若林秀隆

3. 食道癌に対する周術期リハビリテーションプログラム導入前後の比較検討

昭和大学病院 リハビリテーション医学講座

○星瑛里子、笠井史人、小林崇久、高岡哲也、永井隆士、川手信行

4. 当院の自動車運転再開評価におけるドライビングシミュレーターと神経心理学的検査の関連
栃木県立リハビリテーションセンター¹⁾

自治医科大学附属病院リハビリテーションセンター²⁾

自治医科大学神経内科³⁾

○近藤総一^{1), 2)}、秋本千鶴^{1), 3)}、鈴木 尚¹⁾、中澤 征人¹⁾、船越 政範¹⁾

5. 二次性水頭症に対するシャント術後に著明に高次脳機能障害が改善した前交通動脈瘤破裂によるクモ膜下出血の1例(症例報告)

横浜市立脳卒中神経脊椎センター

○田中 都、高塚美貴、藤森秀子、高橋素彦

6. CB-KAFO によって日常生活活動が向上した重度反張膝を有した脳卒中片麻痺の一例

昭和大学医学部リハビリテーション医学講座（藤が丘リハビリテーション病院リハビリテーション科）

○武藤祐汰、森田裕子、中山麻理、佐久間香那、立川貴子、村瀬悠輔、吉富明利、飯田 守、竹島慎一、橋本圭司、川手信行

【専門医・認定臨床医生涯教育研修会：講演 1】14：00～15：00

座長 竹内 亮子 茨城県立医療大学整形外科 講師

「小中学校における運動器検診の意義と実際」

筑波大学医学医療系整形外科講師

鎌田 浩史 先生

【専門医・認定臨床医生涯教育研修会：講演 2】15：10～16：10

座長 清水 如代 筑波大学医学医療系リハビリテーション医学 准教授

「リハビリテーション医学におけるロボット制御と人工知能技術の基礎」

筑波大学システム情報系教授

鈴木 健嗣 先生

【専門医・認定臨床医生涯教育研修会：講演 3】16：20～17：20

座長 羽田 康司 筑波大学医学医療系リハビリテーション医学 教授

「リハビリテーション診療に役立つ体幹筋モーターコントロール」

早稲田大学スポーツ科学学術院スポーツ科学部 教授

金岡 恒治 先生

本学術集会の開催にあたり、皆様から多数のご協力を賜りました。
ここに深甚なる感謝の意を表します。

第 77 回日本リハビリテーション医学会関東地方会学術集会 会長 羽田康司

展示企業・協賛企業

グラクソ・スミスクライン株式会社
株式会社 幸和義肢研究所
Qolo 株式会社
CYBERDYNE 株式外社
酒井医療株式会社
医療法人社団 SKAY しみず整形外科リハビリクリニック
社会医療法人 若竹会 つくばセントラル病院
鶴町皮膚科クリニック
帝人ヘルスケア株式会社
TB ファクトリー株式会社
PLIMES 株式会社

(50 音順)